回覧

窓やベランダからの子どもの転落事故にご注意ください！

窓やベランダからの子どもの転落事故について、次のような事例が多発しています。

○子どもが窓枠や出窓に座って遊んでいるときに網戸が外れて転落
○ベランダで遊んでいるときに置いていた足場に登って手すりを乗り越えて転落

保護者の皆様は、以下のポイントを参考に、窓やベランダからの子どもの転落事故に注意していただくようお願いします。

今まで、こんなことはありませんでしたか？

（１）窓やベランダ周辺の環境づくり

<u>窓やベランダの手すり付近に足場になるようなものを置かない</u>ようにしましょう。

□窓の近くにソファ、ベッド、棚などの家具を置いていませんか？（家具に登って窓から転落する場合があります。）

□ベランダに使わなくなったおもちゃ、ごみ箱、プランター、水槽等が置いてありませんか?(周りにあるものを踏み台にしてしまいます。物干し台の付属品等も注意が必要です。)

（２）子どもの見守り・子どもの教育

<u>子どもだけを家に残して外出しない</u>ようにしましょう。

□子どもは、外から聞こえてくる電車の音、家族や友達の声、犬の泣き声、自動車が駐車する音に反応して走り出し、手すりなどをよじ登って転落することがあります。

また、窓やベランダから家族などの見送りをするために、手すりによじ登り、下をのぞき込んだりして転落してしまうこともあります。

□兄弟姉妹で遊ぶときに幼児を出窓に座らせて転落してしまった事例もあります。また、窓枠や出窓で遊んでいて、網戸が外れて転落する事例は幼児に限らず、7歳以上の児童でも発生しています。

（北海道建設部住宅局住宅課）